

平成28年中の埼玉県内交通事故発生状況

県内交通事故死者数

151人

(前年比26人減、全国ワースト第7位)

セイフティプラン 「150(いちごうまる)」



	県内交通事故発生件数			安管選任事業所関係交通事故発生件数		
	人身事故件数	死者数	負傷者数	人身事故件数	死者数	負傷者数
平成28年	27,816	151	34,212	1,377	8	1,654
平成27年	29,528	177	36,111	1,419	13	1,680
増減	-1,712	-26	-1,899	-42	-5	-26

※安管選任事業所関係の統計資料は、業務中(仕事中、出社途中、退社途中)の数を計上した。

安管選任事業所従業員が第1当事者となった交通死亡事故の推移

	平成	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
	発生状況	件数	13	15	14	9	8	10	5	9	7	13
	死者数	13	15	14	9	8	10	5	9	7	13	8
前年比	件数	0	2	-1	-5	-1	2	-5	4	-2	6	-5
	死者数	0	2	-1	-5	-1	2	-5	4	-2	6	-5

県内・地区協会別交通事故死者数

※事業所は、安管選任事業所従業員が第1当事者となった業務中の事故の死者数で、事業所本拠地により計上した。

南部ブロック				西部ブロック				北部ブロック				東部ブロック			
地区別	死者数	前年比	事業所	地区別	死者数	前年比	事業所	地区別	死者数	前年比	事業所	地区別	死者数	前年比	事業所
浦和	1	-7	0(-1)	川越	5	-2	0(0)	秩父	3	3	0(0)	加須	4	2	0(0)
浦和東	1	0	0(0)	東入間	3	1	1(1)	西秩父	0	0	0(0)	岩槻	9	3	1(1)
浦和西	0	-2	0(-1)	所沢	2	-6	0(0)	本庄	3	2	0(0)	草加	6	-6	1(1)
大宮	2	-1	0(-1)	狭山	7	-1	0(-3)	児玉	1	0	0(0)	春日部	5	-1	1(1)
大宮東	3	1	0(-1)	新座	2	-1	0(0)	鴻巣	4	-1	0(0)	越谷	7	-3	1(1)
大宮西	1	-1	0(0)	西入間	3	-1	1(1)	熊谷	7	-1	2(2)	久喜	8	0	0(-1)
蕨・戸田	1	-2	0(0)	飯能	9	5	0(0)	深谷	1	-4	0(-1)	幸手	3	2	0(0)
川口	4	0	0(0)	東松山	6	-4	0(-2)	寄居	5	3	0(0)	杉戸	3	2	0(0)
武南	7	2	0(0)	小川	2	0	0(0)	行田	3	0	0(-2)	吉川	3	-5	0(0)
朝霞	4	1	0(0)	小計	39	-9	2(-3)	羽生	3	0	0(0)	小計	48	-6	4(3)
上尾	6	-2	0(0)					小計	30	2	2(-1)	高速	4	-2	
小計	30	-11	0(-4)									合計	151	-26	8(-5)

全国の交通事故死者数

前年より213人減の3,904人で、67年ぶりに4,000人を下回った。

県内の特徴

死者数は、前年より26人減少し、人身事故件数も減少した。

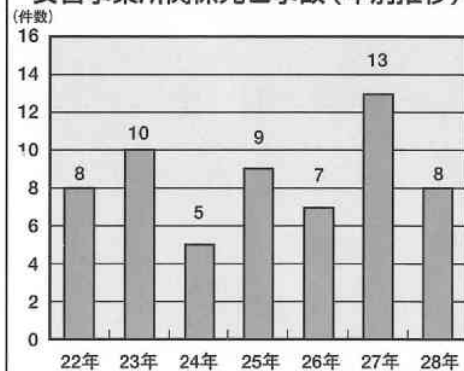
●死亡事故の特徴

- 原因別では、前方不注視(36件)が最も多く発生、歩行者妨害(14件)、安全不確認(13件)と続く
- 第1当事者の年齢層別では、高齢者(44人)が最も多く、40歳代(29人)、30歳代(23人)と続く
- 死者の状況別では、歩行者(55人)が最も多く、前年比においては原付車がプラス3人増加
- 時間帯別では、18~20時(20件)が最も多く、前年比においては14~16時がプラス5件と最多増加
- 道路形状別では交差点(付近を含む)が84件と全体の約6割を占めた

安管選任事業所関係の死亡事故の特徴

- 死者8人(前年比-5人)。状況別では、歩行者3人、自動二輪車2人、四輪車・原付・自転車各1人であった。
- 死者の年齢別では、65歳以上の高齢者が3人で全体の約4割を占めている。
- 運転者の行動目的では、出社途中4人、仕事中・退社途中各2人であった。

安管事業所関係死亡事故(年別推移)



早めの出発 ゆとりの運転

一般社団法人 埼玉県安全運転管理者協会